

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	東そのぎ撮りグルメ			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	東彼杵町	まちづくり課	中山 雄一	0957-46-1286
事業期間	開始年	平成31年12月1日 (2年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成30年12月1日 (完了日)平成31年2月28日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	株式会社 森谷商会		川副 将貴	095-837-1223
	(委託内容) ※別添① 見積書記載のとおり			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	東彼杵町内を含む県内在住者を中心に、佐賀・福岡など近隣自治体在住者。		イベントを通じて東彼杵町の農水産物や飲食店など食の魅力を発信し、地域内の経済活性化や交流人口の拡大を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	既存の食関連イベントを一部リニューアルした「東そのぎ撮りグルメ」。2年目の本年度は平成30年12月～平成31年2月にかけて、東彼杵町内の協賛飲食店10店舗が町内産の農水産物を食材に使用したり、“インスタ映え、するようなアピール力の強いメニューを販売。飲食店を対象とするプレゼントキャンペーンに加え、「見栄えにこだわった料理を撮影し、舌で味わい、SNSで発信する」ことをテーマとしたインスタフォトコンテストを同時開催。東彼杵町内飲食店の周遊や経済活性化、観光振興に寄与した。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 前身の食のイベントや昨年度の「東そのぎ撮りグルメ」により、東彼杵町への誘客促進やリピーター増の機運が生まれた。効果をさらに拡大し、さらなる交流人口拡大と経済波及効果を図るもの。			
	(経緯・現状) 平成26～28年度に町内協賛店舗がオリジナルの丼メニューを開発・提供し、食の魅力をPRする「オイ丼グランプリ」を開催。個々では発信力が弱い町内飲食店が集まることで、本町内における消費拡大や顧客獲得につながった。また、リニューアルした「東そのぎ撮りグルメ」では女性を中心にターゲット層を拡大することができた。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）			755,354円	506,472円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金		375,000円	253,236円				
	一般財源		380,354円	253,236円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	町内協賛店舗数	協賛する町内店舗数	店	目標	-	-	10
					実績	-	-	10
				目標達成率(%)		-	-	100
	②	食の売上数	食の売上数(回収した応募ハガキ枚数×1.5倍を推計値として使用)	食	目標	-	-	800
					実績	-	-	471
				目標達成率(%)		-	-	59

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需(+) 私益(-) 公益(+) 選択(-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 食のイベントとしては継続性があるものの、認知度はまだ低い。消費者だけでなく、町内の飲食店事業者にとっても機運を高めるために継続する必要性はある。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		協賛店舗は一定数確保できたものの、メニューの注文を受けて応募ハガキを渡すことが業務多忙により困難な状況もあり、プレゼント応募数は下回った。		
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	実施予定 期 日	H30 年度	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 成果指標として、プレゼント応募ハガキの回収枚数から注文数を推計しているが、協賛店舗によってはハガキを手渡す作業が徹底できていないことが分かった。一般消費者の満足度を高めながらも、店舗の負担にならない仕組み作りが必要。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		飲食店独自の企画・運営が実施できる形が理想的だが、人材確保や経費負担を含めてハードルが高い。将来的に各店舗の協賛メリットが広がり、自走できる態勢づくりのため、もうしばらくは行政の関与が必要。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		町独自のイベントであり、特に受益者負担はなし。			

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	イベントの内容や協賛飲食店を増やし、さらなるイベント周知を図る必要がある。				